



# 大臨技ニュース

〒545 大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル  
-0051  
TEL 06-6647-3454 FAX 06-6644-1128  
社団法人 大阪府臨床衛生検査技師会  
大臨技ホームページURL  
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

## 平成13年度 通常総会（決算総会）開催のお知らせ

平成13年度決算総会が下記の要領で開催されます。平成12年度決算等に関する重要な総会です。会員各位の多数の参加をよろしくお願いします。

- ・日 時：平成13年5月31日（木）18：30～20：00
- ・場 所：大阪市立大学医学部 4階 中講義室（大阪市立大学病院前）

## 第50回 日本医学検査学会参加の皆様へ - 注意 -

第50回日臨技学会が5月24（木）～26（土）の3日間、東京国際フォーラムで開催されます。参加される皆様は新しい「会員証」を必ず持参してください。従来の「会員証」では受付できませんので、ご注意下さい。なお、平成13年度会費を納入済みで、まだ新しい「会員証」が届いていない場合は従来の「会員証」と会費納入を証明する領収書を持参してください。

## 第10回 学術部講演会

内 容：「医療における過誤防止対策について」（仮題）

講 師：医療法人 医真会 医真会八尾総合病院 森 功  
 松下電器健康保険組合 松下記念病院 熊田 至  
 東京海上火災保険株式会社 特別補佐役（医療団体担当） 高岡 正幸

日 時：平成13年6月30日（土）14：00～17：00

会 場：未定

## 平成13年度 生涯教育推進講座のご案内

5月に開催されます生涯教育推進講座をお知らせします。

日 時	内 容 お よ び 講 師	教科	会 場	担当部会
5月29日(火)18:30~20:00	オーダリングシステムと検査システムの連携について 鈴木英一（長瀬産業株式会社）	B教科	アズエル8階会議室	情報

## 第41回近畿医学検査学会のご案内

第41回近畿医学検査学会は、社団法人兵庫県臨床衛生検査技師会が担当し、下記の要領で開催されます。

### 記

テーマ：『<sup>いのち</sup>生命・<sup>いがく</sup>検査・<sup>みらい</sup>新生』～兵庫からの発信～

日時：平成13年10月27日（土）・28日（日）

学会会場：神戸国際会議場

公開講座：フォーラム

血液：人の命の大切さを感じて - 白血病を語る -

輸血：安心して輸血をうけていただくために

教育講演：「DRG / PPS 検査室はどんな検査をするべきか？」 渡辺清明（慶應義塾大学）

「粒子線治療の実際」

菱川良夫（兵庫県立粒子線治療センター）

フォーラム

管理運営：医療改革と医学検査 - 21世紀の展望と戦略 -

公衆衛生：検査を取り巻く危機管理

シンポジウム

臨床化学：DRG / PPSにおける臨床化学の関わり

免疫血清：どこまでやるのか感染症検査

病理：病理標本作製の短縮化 / 迅速化

一般：寄生虫とその周辺

微生物：感染症検査の新たな展開

教育カンファレンス

生理：これからの生理検査に求められるもの - 緊急時の判断と対応 -

遺伝子・血液：白血病における微小残存病変

パネルディスカッション

輸血：異常反応時の輸血

スライドカンファレンス

細胞：迅速細胞診の現状 - 判定に苦慮した症例 -

演題・抄録切：

ホームページ 6月30日（土） 郵送 5月31日（木）

学会事務局 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-5-5 神戸林ビル2F

社団法人 兵庫県臨床衛生検査技師会

TEL 078 - 334 - 0455 FAX 078 - 334 - 0451

## 会員証の発行に関するお知らせ（重要）

平成13年度の会員証は3月10日までに会費入金の確認ができた会員に4月1日に届くように日臨技から郵送されてきます。これ以降に会費を入金されたことが確認された会員には会員証が4月に入ってからも届かない可能性がありますのでご注意ください。

会員証が未着の会員が大臨技の行事に参加される場合は、会費を納入したと会員番号を受付時にお申し出ください。各行事の責任者は手動で会員の参加登録をしてください。

新しい会員証は会員個人宛に二枚貼りのハガキで送られてきます。ハガキを開くと中に新しい会員証が入っています。会員証は裏に接着剤が付いていますので、ゆっくりはがして裏面を合わせ、二つ折りにしてお使いください。受け取ったら必ずパスワードを変更してください。

## 「第2回 大放技・大臨技合同フォーラム」開催報告

昨年に引き続き、大阪府放射線技師会（大放技）との共催による「第2回大放技・大臨技合同フォーラム」が、3月17日（土）午後3時から6時まで、大阪市立大学医学部基礎学舎4階大講義室において開催されました。

1部のシンポジウム「医療環境問題 - 被爆と感染」では、両会の演者より職業被爆および院内感染についての講演とディスカッションが行われ、2部の学術フォーラム「肝疾患の画像検査 パート2（CT・MRI・ECHO）」では、肝疾患のMRI画像とエコー画像の同時映写をもとに両会の演者と司会者を交え、互いの専門分野を生かしたスライドカンファレンス方式によるユニークな進行で、肝疾患の画像検査についてより理解していただける内容でした。

今回は両会より多数の参加者があり内容についても大変好評でした。今後もこのような企画を進め、会員の皆さまと共に他団体との交流でしか得られない知見を深めて行きたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



より広範な精度保証の実現を目指して

1. ネット対応型のeQAPシステムと、eQAPに対応した新MCP-QC
2. eQAPのために開発されたマテリアル (QAPトロール1X・2X)
3. マテリアルの新しい品質保証システム  
・湿度インジケータ付の梱包でお届け致します。

---

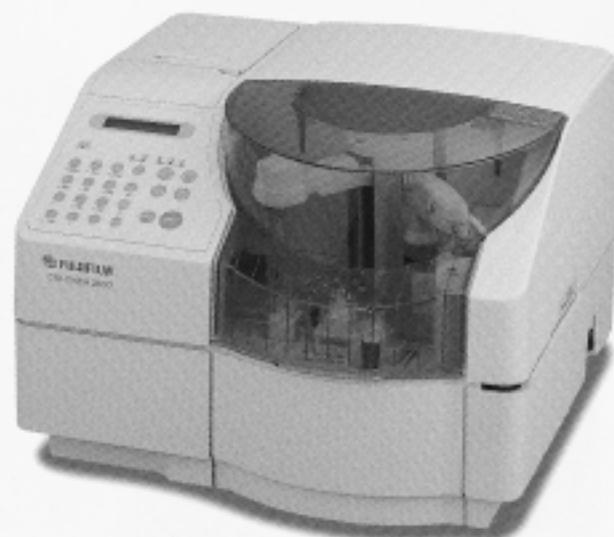


**国際試薬株式会社**  
〒651-0883 神戸市中央区新開町2-1-30 TEL:078-233-4151  
www.itl.co.jp

生化学自動分析装置

# 富士ドライケム3500

比色<酵素・一般化学・免疫>/電解質<Na・K・Cl>



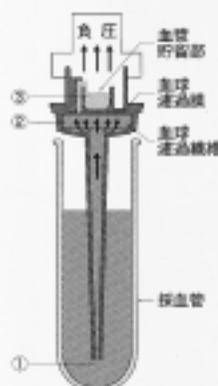
遠心分離不要で、そのまま測定へ。

## プラズマフィルターPF

富士ドライケム3500/3500p

全血より血漿を分離するカートリッジ式フィルター。それがプラズマフィルターPFです。ヘパリン全血の入った採血管にカートリッジを差し込み、スタートボタンを押すだけで自動濾過。遠心分離では通常10数分を要する血漿分離を約1分で完了し、スピーディに測定を開始します。

- ①スタートボタンを押すと、カートリッジ上部にポンプ吸引部が接続され、カートリッジ下部のノズルより吸引が始まります。
- ②全血がガラス繊維濾紙層に達し、血球濾過を開始。さらにこの層を通り抜けるわずかな血球もポリスルホン多孔膜で濾過。
- ③カートリッジ上部に血漿のみが貯まります。



さらにマルチに、多項目測定。

## 電解質測定部

富士ドライケム3500/3500s

電解質測定部の搭載。これにより、比色/電解質、測定方式の異なるどちらの項目も、コンパクトなこの1台で測定可能になりました。

面倒な希釈操作を自動化。

## 自動希釈機能

富士ドライケム3500/3500s/3500p/3500e

手作業での分注・混和など、手間のかかる希釈操作を自動化しました。希釈カップと希釈液をセットするだけで、事前に設定した倍率で自動希釈。希釈測定のみ分けて行う必要はなく、通常の測定に組み込めます。

## 3ステップのシンプルな操作。

基本的な操作は、3ステップ。スタートキーを押してから、測定データのプリントアウトまでを完全自動化。スライド裏面のバーコードにより項目を自動識別するため、事前の項目指定も不要です。



1 スライドをセット



2 検体をセット



3 スタートキーを押す



FUJIFILM

総代理店 富士メディカルシステム株式会社

<代理店>



和光純薬工業株式会社

[資料請求先]

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13 電話:03-3270-9134 (ダイヤルイン)

